

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 508 号	氏名	Narantsog Choijookhuu
学位審査委員	主 査 田口 尚 副 査 篠原一之 副 査 増崎英明		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 妊婦に特有な便秘の誘導において、エストロゲンが腸管からの水・ナトリウムの吸収増加にどのように関与するかを明らかにするために、その受容体のひとつである ERβ と Na⁺/H⁺交換輸送体(NHE3)の発現を検討したものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 ICR 雌マウスの各妊娠ステージの大腸における ERβ 及び NHE3 の発現部位、発現量の変化を免疫組織化学、in situ hybridization 及び Western blot 法にて解析した。また、卵巣摘出マウスにおける実験や、in vivo electroporation を用いた ERβ siRNA 導入実験も行っており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、マウスにおいて妊娠の進行とともに ERβ の発現が近位大腸の上皮細胞に特異的に誘導され、ERβ 発現細胞では NHE3 の発現も増強し、これらの発現増強はエストロゲンによるものであることを明らかにした。エストロゲンが大腸におけるナトリウム吸収に必須な遺伝子の発現を制御していることは興味深く、研究の成果は妊婦に特有な便秘の誘導機構に新知見を示すものとして、高く評価される。</p> <p>以上のように本論文はエストロゲンの研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			